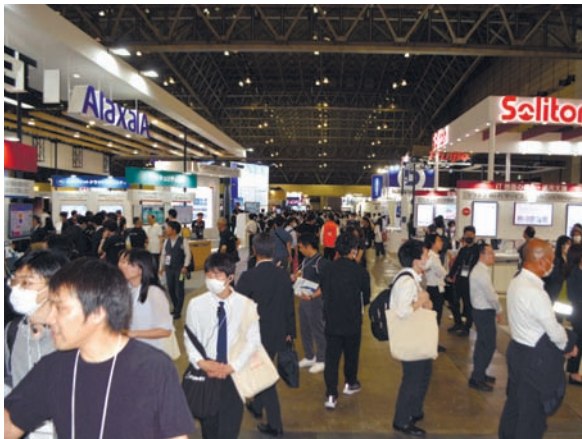


Interop Tokyo／DSJ2024が同時開催 次世代技術の活用で新ビジネス



AIを活用したビジネスの可能性を探る (写真は昨年のInterop Tokyo)

AIとインターネットに焦点

インターネット技術の総合イベント「Interop Tokyo 2024」および、デジタルサイネージの最新動向を伝える「デジタルサイネージジャパン2024 (DSJ2024)」が、6月12～14日に幕張メッセ(千葉県美浜区)で同時開催される。最先端の技術・ソリューション・サービスが一堂に会し、技術動向とビジネス活用のトレンドを、会場でのデモンストレーションや識者・専門家による講演・セミナーを通して捉える機会となる。

「Interop Tokyo 2024」のテーマは、『AI社会とインターネット』。より豊かな社会の実現に向けてAIがどう活用されていくのか、そしてAIを活用すれば膨大に増えていくデータ量に対応するために必要となるインターネット・インフラとは何か―などについて考察する。

約500を超える出展者、データセンタの誘致に積極的に取り組み「AI

社会を支えるインフラ」のキーマンともなっている鈴木直道・北海道知事など、多彩なゲストを招聘する各種講演、そして、会場内に構築される独自のネットワーク「ShowNet」によって実施される多様なトライから、次世代に向けた提言を多角的に展開する。

◆主な基調講演
▽「デジタルとゼロカーボンで世界に挑む北海道」(北海道知事／鈴木直道氏)
▽「生成AIの本番利用における課題とその解決策」AWSで実現する『責任あるAI』(アマゾンウェブサービスジャパン Data & AIソリューション本部 機械学習ソリューションアーキテクト／大淵麻莉氏)
▽「テレビ業界が次にXRに取り組みべき理由はコレなんです」(Neo Real X社長／安藤聖泰氏、TBSテレビメディアテクノロジー局 未来技術設計部テクニカルエバンジェリスト／永山知実氏、関西テレビ放送 経営戦略局 事業戦略部「カンテレXR」事業プロジェクトリーダー／プロデューサー／山本道雄氏)

デジタルサイネージの最新動向

「DSJ2024」は、街中の情報メディアとして多様な役割を果たす『デジタルサイネージ』にフォーカスし、各社が最新の技術やソリューションを訴求する。業界の課題解決と新市場の創出、さまざまなビジネスシーンにおけるサイネージの活用事例などを伝える。

なお、デジタルサイネージコンソーシアム主催による「デジタルサイネージワード2024表彰式」が12日(14時15分



デジタルサイネージの活用が広がっている (写真はDSJ2023より)

【主な基調講演】
▽「リテールメディア最前線」Omnicast Systemsの事例に見るその可能性と課題、今後の進化はどうあるべきか(日本コカ・コーラ カスタマー・コミュニケーション本部長／ロース代表／結城崇史氏)
【詳細】www.dsimage-e.jp

◆開催概要
【会場】▽展示会／展示会場内セミナー／専門セミナー／幕張メッセ・国際展示場(展覧ホール2・6)▽基調講演／国際会議場2階
【日時】6月12～14日／10～18時(14日は17時まで)、基調講演は9時30分開始(12日のオープニングは9時15分)
【参加費】公式サイトからの事前登録または招待券持参で無料(カンファレンスは有料)
【公式サイト】www.interop.jp

NETGEAR® AV 「AV over IP」の世界を訴求へ

放送業界で必要な機能を示す

NETGEAR(ネットギア／本社：米国カリフォルニア州サンノゼ市)の日本法人、ネットギアジャパン(東京都中央区)は、最新テクノロジーのイベント「Interop Tokyo 2024」(6月12～14日／幕張メッセ)で、SMPTE ST2110対応のネットワークスイッチを展示する。IPネットワークで映像素材を伝送するためのSMPTE標準規格に対応したことで、放送業界でIP化を検討する事業者への展開を図る。

同社のブースでは、Pro AVシリーズネットワークスイッチを中心に、多彩なデモンストレーションおよび展示により、同社が推進する「AV over IP」の世界を訴求する。その中で、今年春にリリースしたST2110対応ネットワークスイッチ「VSM4320C」「XSM4344C」のコーナーを設け展示する。

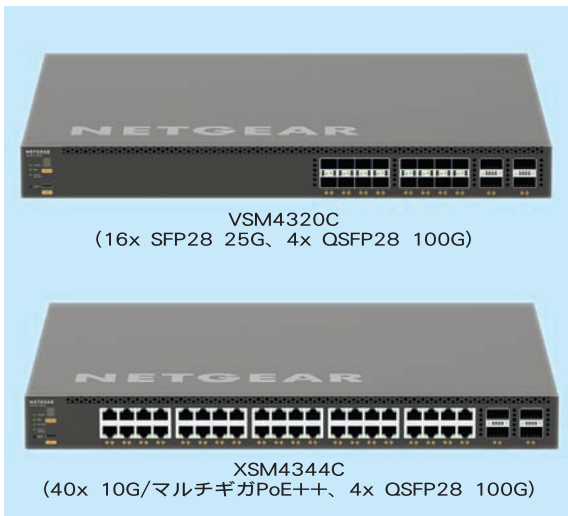
ネットギアジャパン Pro AVビジネスディベロップメントマネージャーの山本明人氏は「クリックのみでスイッチ設定が完了できるGUIおよび、PTPを使用した時刻同期が、このST2110対応製品の展示のポイントになる。放送業界に必要な機能を示していきたい」と話す。

通常ネットワークスイッチは、専門的な設定をした上で稼働する仕組みが多い。ネットギアのPro AVシリーズは、GUIに表示されるアイコンやメニューをマウスなどでクリックし、

直感的な操作だけで設定が行える。専門的なITネットワーク用語などの複雑なメニューをすべて取り除き、AVフレンドリーなテンプレートベースでスイッチの設定が可能である。ST2110対応のモデルにはPTP設定項目があり、その設定についてもクリック操作のみとなっている。

また、通常必要になるネットワークスイッチ設定に関連する長時間のトレーニングや知識、その他複雑なセットアップ手順の短縮も可能となり、ユーザーの負担を軽減し、ユーザー自身でもそれらの設定ができるほどスイッチ設定をシンプルにしている。

さらにネットギアでは、世界200社以上のAV機器メーカーとアライアンスを組み、各製品の互換性テストを繰り返し、あらゆるAV over IP関連製品と組み合わせることができる。ST2110対応のスイッチという点、かなり高価で設定も複雑なイメージがあるが、当社製スイッチはこのイメージを払拭できているのではないかと、その優位性を強調した。



VSM4320C (16x SFP28 25G, 4x QSFP28 100G)

XSM4344C (40x 10G/マルチギガPoE++、4x QSFP28 100G)

「Interop Tokyo 2024」(6月12-14日／幕張メッセ)ネットギアジャパン：ブースNo.5J04

Interop[®]24

Tokyo

AI社会と インターネット

2024年6月12日(水) > 14日(金)

会場 **幕張メッセ**
(国際展示場 / 国際会議場)

展示・講演 | 10:00～18:00(最終日のみ 17:00 終了)
基調講演 | 9:30～(初日のみ Opening 9:15 開始)

基調講演

KA1-01 6.12(水) 9:30 - 10:10

デジタルとゼロカーボンで
世界に挑む北海道



北海道知事
鈴木 直道 氏

【登壇協力】北海道

KA2-01 6.13(木) 9:30-10:10

生成AIの本番利用における
課題とその解決策
～ AWSで実現する「責任あるAI」～

アマゾン ウェブ サービス ジャパン(同)
Data&AIソリューション本部
機械学習ソリューションアーキテクト
大淵 麻莉 氏



【登壇協力】アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

KA3-01 6.14(金) 9:30-10:10

ソフトバンクの戦略
次世代社会インフラ構築と
生成AIの事業展開

ソフトバンク(株)
専務執行役員 兼 CIO
牧園 啓市 氏



【登壇協力】ソフトバンク株式会社

他にも多数の講演と展示を予定しております。

同時開催
イベント

DSJ2024
デジタルサイネージ ジャパン

APPS JAPAN
アプリジャパン2024

Vision AI Expo
画像認識 AI EXPO 2024

主催

Interop Tokyo 実行委員会

運営

一般財団法人インターネット協会 / 株式会社ナノオプト・メディア

特別協力

WIDEプロジェクト

お問い合わせ

運営事務局 | (株)ナノオプト・メディア june-info@f2ff.jp

公式サイト
はこちら▶



インターロップ 2024

検索

一台ですぐにデジタルサイネージ！

サイネージプレーヤー搭載「BrightSign Built-in シリーズ」

トップシェアのサイネージプレーヤー「BrightSign」を搭載し、コンテンツ保存したメモリーカードを接続するだけでサイネージを再生できます。無償のオーサリングソフトウェアで直感的にコンテンツの作成・管理を実現し、ネットワーク更新にも対応します。

BrightSign®
Built-In

MOKA

BrightSign内蔵
スリムベゼルディスプレイ

駅・店舗などのサイネージに！

bluefin

BrightSign内蔵
小型～中型タッチディスプレイ

店舗用電子POPに！

Ascentic®
RETAIL ENGINEERING
by Audio AuthorityBrightSign内蔵
HDMI分配器・オーディオセレクター

交通機関のサイネージ・オーディオの視聴コーナーに！

サイネージプレーヤー「BrightSign」について



デジタルサイネージに必要な機能をすべて兼ね備え、ローコストで思い通りのサイネージを実現する専用プレーヤー。タッチパネルやインタラクティブセンサーなどを併用して、ユニークなインタラクティブ機能を簡単に追加できます。

お問合せ先

ジャパンマテリアル株式会社
グラフィックスソリューション事業部E-mail : sales-it01@j-material.jp
URL : https://jmgs.jp/

※記載されている商品名等は各社の商標または登録商標です。

伊藤忠ケーブルシステムは「Interop Tokyo 2024」で、『KVM & Media over IP 統合モニタリングシステム』をコンセプトに、セキュアでクリティカルなシチュエーションに採用されているKVMシステムと、SMPTE ST2110をはじめ、多種多様な映像信号を集中監視する統合システムをイメージして展示する。

KVMは、放送業界を皮切りに、24時間/365日でシビアな運用を求められる防衛施設や航空設備などにおいて、高い

シェア率を誇る、高度な安定性と操作性を実現するIHS非IP方式KVM「Draco」と、IP方式KVM「Scala

伊藤忠ケーブルシステム
多様な映像信号を集中管理
IP統合モニタリングシステム

KVMシステム

label Lineを中心として、ブス内11台のPCを集中監視する。映像/音声信号は、普遍的なSDIとIPを併用して伝送。IPライブプロダクションをイメージし、PTZカメラから最新のIP伝送方式である「RI-ST」を使用、Imagine Communication「SNP」でベースバンドに

特別企画「Internet x Space Summit」

「Interop Tokyo 2024」では、昨年に続き、今後の宇宙開発におけるキーファクターとなる宇宙空間の通信、そして宇宙間通信の確立によって実現する新たなビジネスにフォーカスする特別企画「Internet x Space Summit」を実施。惑星間インターネットや探査などのトピックに加えて、応用分野や宇宙環境における法整備に関するセミナーや展示を通して、新しい市場の可能性を伝える。

ronology「mes」へ伝送、撮り逃しを防止するループRECを実現。収録しながら放送や配信用の編集作業にも対応できる。

ネットギアジャパン

総合クラウド管理システム
ネットワークソリューション

ネットギアジャパンは「Interop Tokyo 2024」で、ルータ、モバイルルータ、スイッチ、アクセスポイントといった主要なネットワーク機器をトータルに管理するクラウド管理システム「NETGEAR Insight」を展示する。

「NETGEAR Insight」は、NETGEAR IPを展開。AVトータルAVソリューション、そして最新のWiFi7の技術を取り入れたOrbiメッシュのネットワークソリューションとのコ



5G WiFi 6E モバイルルーター M6 Pro

ラボースを設け、各種映像・音声機器との組み合わせをデモ。②SDVoEによる4K伝送。③放送局の映像制作向けに最適化された規格であるSMPTE ST 2110対応の放送業界向けネットワークスイッチ製品。これらネットワーク接続された機器は、クラウド管理システムNETGEAR Insightでコントロールするデモもポイント。NETGEAR Insightは、ネットワークのあらゆる側面を一つの画面から簡単に管理、監視できる。管理方法はウェブだけでなく、アプリにも対応しているため、どこでも簡単に管理や設定変更ができるのも特徴となっている。

ihse. Draco Tera KVMシリーズ
KVM & Beyond日本国内放送局様で350システムを超える豊富な採用実績
圧倒的な安定性を誇る非IP-KVM

- 非IPの独自プロトコルにより、大型システムでもトラフィックに影響されない安定運用
- Draco IP-CONシリーズ / Draco IP-Gatewayにより、IPネットワークとの接続も可能
- システムの冗長化やバックアップシステムの構築により、重篤なトラブルを回避
- コンソール（オペレータ）ごとに設定できる豊富なアクセス権限メニュー
- APIを使った外部制御に対応
統合コントロールシステムによる制御、運用が可能
- スイッチに接続するだけでKVMエクステンダーを自動認識
ネットワークの設定などは不要



Interop Tokyo ホール3 ブース3W17

2024.6.12(水)～14(金) 10:00～18:00
(最終日のみ17:00終了)

伊藤忠ケーブルシステム株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田3-20-14 高輪パークタワー TEL.03-6277-1824

IHSE製品の詳細は下記URLかQRコードよりご覧いただけます。
<https://itochu-cable-systems.jp/products/ihse/>

中国で開催「ISLE2024」の現地視察報告

DSJ2024専門セミナーとして、13日10時30分-11時10分（展示会場内RoomA）に開く。中国で開催された世界最大級の大型LEDディスプレイ関連の展示会「ISLE2024」（2月29日-3月2日）の現地取材で得た情報をもとに、大型LEDディスプレイの最新情報を提供する。スピーカーはマネッジ・オンライン代表取締役/3DBiz研究会 代表幹事の久保洋氏、モデレーターは、フリージャーナリストで「映像新聞」記者の川田宏之。

ジャパンマテリアル

サイネージプレーヤー新製品
4Kマルチ出力や8K解像度に対応

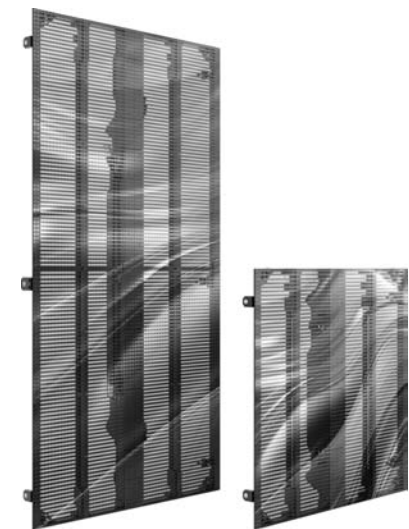
ジャパンマテリアルは「DSJ2024」で、サイネージプレーヤー「BrightSign」シリーズに新製品が登場。

「BrightSign」は、思い通りのサイネージを実現するプレーヤー。BrightSignの最新シリーズ、4Kマルチ出力や8K解像度をサポートするほか、最強のHDMIエッジを搭載。XT5シリーズの新製品「BrightSign XT2 145（1入力2出力モデル）」も初展する。



「BrightSign」の最新シリーズ

さらに、BrightSign内蔵でサイネージに最適なスリムベゼルディスプレイである、MOKA社製ディスプレイ



JPV2シリーズ

「DSJ2024」に登場した。JPV2とマイクロLED（COB）チップ面（PL Series）と組み合わせることができる。「SA」は、屋内ファインピッチの軽量レンタル製品。16対9に対応し、リアメンテ対応も可能となっている。

「PL」は、新世代の屋内/屋外レンタル製品。多様な設置方法に対応できる。「JP Pro」は、屋外強風対応可能な透過型製品。特別設計されたドリーで持ち運びや使用が簡単。「Absenicon X」は、COB一体機製品。108/136/163型の3サイズともフルHD対応、高画質で値段が従来のSMD（表面実装）型より低価格。「KV3」は、屋内常設の新製品。クリエイティブ向けで自由度が高い。「NX」は、屋内常設の製品。16対9に対応し、リアメンテ対応も可能となっている。

Interop 24 Tokyo
DSJ 2024 特集プラットフォーム
デジタルサイネージ運用業務
放送分野のノウハウを応用

プラットフォームは、運用といえば、放映編成やコンテンツのシフト、デジタルサイネージ運用業務代行について提案する。放送・配信の運用代行を手掛ける同社は、デジタルサイネージ運用業務の拡大を進めている。一昨年DSJに初出展して以来、急速に受託件数を伸ばし、現在約1万3000面の運用に携わっている。

運用という、放映編成やコンテンツのシフト、デジタルサイネージ運用業務代行について提案する。放送・配信の運用代行を手掛ける同社は、デジタルサイネージ運用業務の拡大を進めている。一昨年DSJに初出展して以来、急速に受託件数を伸ばし、現在約1万3000面の運用に携わっている。



デジタルサイネージ運用業務

上の指摘事項があるとしており、地上波基準の審査はサイネージ広告にも有効である。もう一つ、注目度が高いサービスが遠隔監視。同社では放送業務支援で3交代、24時間体制のチームがあり、夜間や休日などにそのスタッフがサイネージの放映監視にあたる事ができる。内製では高コストになる時間帯も、同社が定期的なチェックを遠隔で実行するため、コストを抑えつつ長時間の不具合放置を避けられる。同社では、これからの代行メニューを拡大していく方針だ。

手間のかかる
サイネージ運用業務
アウトソーシング
してみませんか？

ご利用中のシステムそのまま引き受けます

編成管理 意匠審査 素材変換・登録 放映遠隔監視

受託面数 **13,000** 以上の実績

※2024年6月現在

PLAT
WORKS

株式会社プラットワークス

お気軽にお問い合わせください

TEL 050-3538-1820

sales@plat.works

https://plat.works

〒135-0016

東京都江東区東陽7-5-8 東陽町MLプラザ2階

